

# 進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

## 【2023年度入試①】

49回生が受験した2023年度入試についてお伝えします。今回は共通テストについて。

49回生の共通テストへの出願者は218名、受験者数は207名でした。共通テスト当日にすでに大学への合格が決まっている人も、多くは合格通知に気を抜くことなく周りの人と同じように受験勉強に励み、共通テストの本番を力試しとして受験しています。207名は自己採点の結果のある人数ですが、実際の受験者はもう数名多いと思われます。このような年次全体の雰囲気は得点を押し上げ、49回生も健闘しました。

共通テストは国公立受験に必要なだけでなく、私学にも共通テスト利用受験がありますから、受験のチャンスを確保するために共通テストを多くの生徒が受験している状況は、大学入試においては当然のこととなってきています。私立大学への入学をメインに考えている生徒でも、共通テストを受験することで、国公立大学へ出願ができるチャンスを得られる場合があり、最終的に選択肢を広げることに役立ちます。また、コロナ等に感染し受験できない場合は、共通テストの成績をもって合否判定する大学も多いです。

表は共通テストの全国平均点です。本校からの受験者の少ない科目は省いています。共通テストは、平均点がほぼ6割になるように作られています。

(国語は200点、理科①は50点満点です) 実際に各科目の全国平均はこの値に近くなっています。理科②に注目すると、物理と生物で平均点に大きな差があります。受験した科目によって大きな不公平が生じる場合の基準にしたがって、昨年度は得点調整が行われました。

本校では共通テスト自己採点の結果とは別に、3年次生に答案再現をお願いしています。各教科の先生方が問題と再現答案の結果を突き合わせて、分析を行って来ています。3年次を担当される先生方は、この分析を踏まえて今年度の授業を実施してくれています。

見てわかる通り、キーワードは「読解力」。暗記だけではなく、十分に思考・考察を重ね、物事の本質をつかむ練習を積んでおくことが重要で、そのような学習は二次試験(個別試験)や私学入試でも同じです。

余裕を持った学力が保持できるよう、日頃から心がけておきましょう。

全国平均(2023)		
国語	105.7	
世界史B	58.4	
日本史B	59.8	
地理B	60.5	
倫理	59.0	
倫理・政経	60.6	
数学IA	55.7	
数学IIB	61.5	
理科①	化学基礎	29.4
	生物基礎	24.7
	地学基礎	35.0
理科②	物理	63.4
	化学	54.0
	生物	48.5
リーディング	53.8	
リスニング	62.4	

共通テスト分析結果の一部	
国語	読解力・情報を適切に把握する力が必要とされる。
世界史	事象を多角的に検証し、出来事を総覧しまとめること。
地理	複数の資料を読み取り、制限時間内に解答することが必要。
数IA	分量が多く、複雑な設定を読み取る力が必要。
数IIB	難易度が問題で異なり、計算力や読解力が問われる。
物理	実験データとその取扱いについての慣れが要求される。
化学	その場で読み解き、理解する力が必要な問も見られる。
生物	知識を踏まえて読解力・高度な思考力が要求されている。
英語	速読力・複数資料の要点を把握する力が必要。



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

Member of



UNESCO  
Associated  
Schools